

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ふーれい		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 15日		～ 令和7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 15日		～ 令和7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所として、保護者様・お子様が安心して通い、楽しみにしてくれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が選択できる環境や機会を積極的に作っている。 ・お子様が伝えてくれた要望に対して前向きに対応している。 また、対応できない時には、何故対応できないのか共に考え、実現に向け、一緒に取り組んでいく。 ・季節や『今しかできない体験』を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠方へのおでかけを増やす ・日常生活への力につながる経験の充実
2	他事業所との連携や地域の方々と触れ合う機会、部会参加などを通して得た様々な情報を適宜、保護者様に共有できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の部会参加により、施設での困りごとやこれから取り組みたいことを発信。それにより、発信に応じた協力を得やすい。 ・近隣の岩国市、廿日市市の父母の会等にも参加。イベントや福祉サービス、医療の情報を集め、保護者様と共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所と協力しての合同イベント ・地域の交流・体験の場の拡大 ・地域の方のボランティア受け入れ ・保護者様への情報発信の情報量の充実 ・地域の福祉団体と保護者様の困りごとの連携作り ・つながりを通じた講演・研修依頼
3	保護者様が相談しやすい関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・個々、または各ご家庭に寄り添い、状況・環境に応じた対応の提案。 ・要望への臨機応変に対応。 ・モニタリング時のみではなく、随時相談受け入れ。 ・写真や動画を利用した活動報告や状況確認。 ・保護者様との日々の会話ややり取りの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを分析した施設運営の見直し ・より密な関係づくり ・動画による食事や活動の様子の情報提供（より深いお子様の理解・提案につなげていく）

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族イベントの不足（保護者会は年2回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ・対応地域が広く、場所選びが困難。 ・公共交通機関の不足。 ・開所日以外の出勤職員の不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保 ・イベント開催可能場所の開拓 ・兄弟児・ご家族様が参加しやすい活動の提案 ・駐車場の確保
2	・契約時に説明した事柄の周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明したことについて、後日改めて周知できてない事柄がある。 ・見学の機会は設けているが、現地に来なければ確認できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の説明に加え、職員の紹介や施設の写真等をお便りで配布し、いつでも確認できるようにする。 ・現在行っている月1開放日をもっと活用しながら、施設内をいつでも見学できる環境を作る。
3	・日々の活動（地域の交流）の保護者様への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・月1のカレンダー補足説明のお便りは配布しているが、文字ばかりで興味関心を引きにくい。 ・地域の交流が年間行事予定への明記がされてない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流も年間行事予定に明記。 ・興味関心を引くお便り作り。